

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 3 年度				
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		遊休施設の稼働停止 ボイラー設備 (15基) の更新 (A重油→LNG) 空気調和機等の省エネVベルトの採用				
温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度 (令和 3 年度)		
				二酸化炭素換算 (t)		
	<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO ₂		
	<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO ₂		
	グリーン電力証書の購入			t-CO ₂		
	グリーン熱証書の購入			t-CO ₂		
	オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂		
	国内クレジットの購入			t-CO ₂		
J-クレジットの購入			t-CO ₂			
合 計			① t-CO ₂			
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (令和 1 年度)	目標年度 (令和 4 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 3 年度)	対基準 年度比 (%)
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算 (t))② 14,583 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 14,100 t-CO ₂	96.7	(二酸化炭素換算 (t))③ 13,968 t-CO ₂	95.8
	<input type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算 (t))② 14,583 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 14,100 t-CO ₂	96.7	(二酸化炭素換算 (t))③-① 13,968 t-CO ₂	95.8
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出 A/B	0.378 t-CO ₂ /m ²	0.365 t-CO ₂ /m ²	96.6	0.376 t-CO ₂ /m ²	99.5
	温室効果ガス排出 量と密接な関係 を持つ値 B	38600 m ² (補正延床面積)	38600 m ² (補正延床面積)	100.0	37173 m ² (補正延床面積)	96.3
排出量等の増減理由	「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載の施策の実施により削減活動を推進しているが、排出量の大半を占める電力の排出係数が計画時 (0.000500) に比べて実施年度 (0.000550) へ10%増加したことによる影響が大きいものと考えられる。					
特記事項	対象施設の一部に、一般財団法人阪大微生物病研究会が所有し、株式会社BIKENが使用している製造関連の施設を含む					

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書 (当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書) に記入した数値を転記すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。
- 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由 (計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。) を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。